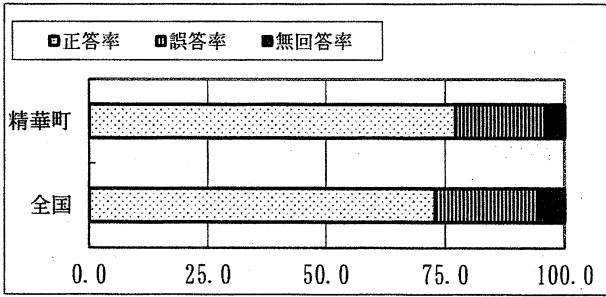


正答率の比較

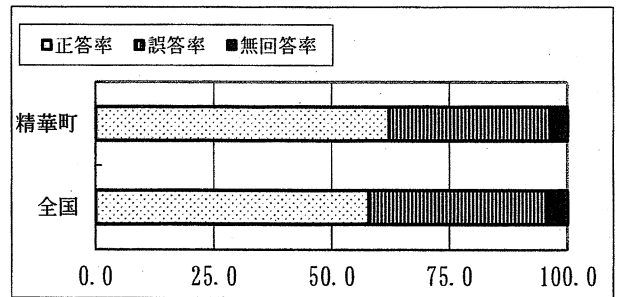
A問題



■国の状況
正答率は約73%であり、相当数の児童が今回出題された学習内容を概ね理解していると言えます。

■精華町の状況
全国との関係において、正答率が約4%程度高く、良好な結果であると言えます。

B問題

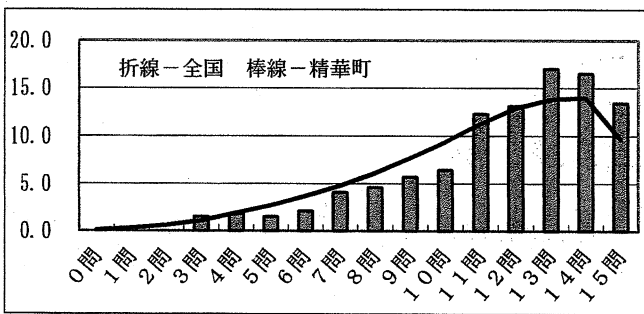


■国の状況
正答率が57.8%であり、昨年度より7.6%下がり、「活用の力」において、課題が見られます。

■精華町の状況
正答率は全国を上回っており、学習成果が見られます。

正答数の分布比較

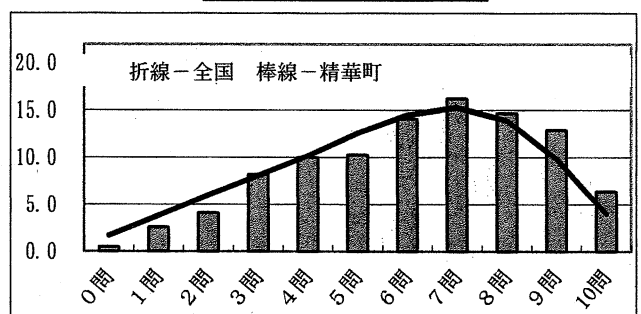
A問題



■国の状況
正答数は14問をピークに右寄りの山型の分布を示しています。

■精華町の状況
全国との比較において、13、14問をピークに右寄りの分布を示しており、良好な結果と言えます。

B問題

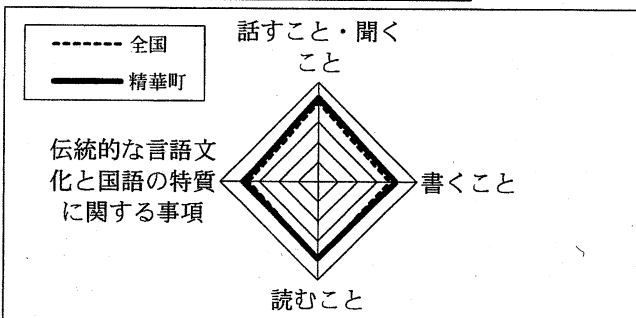


■国の状況
正答数は7問をピークとするなだらかな山型の分布を示しています。

■精華町の状況
やや右寄りの正規分布であり、概ね良好な結果であると言えます。

領域・観点等の比較

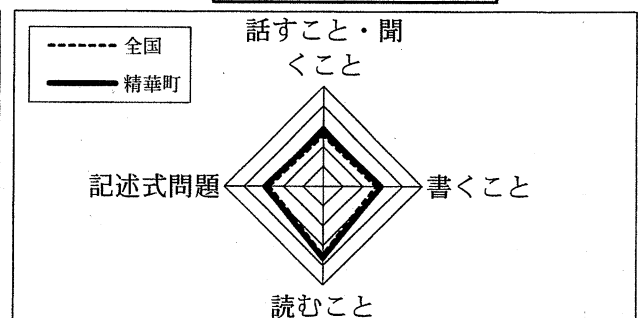
A問題



■国の状況
4つの領域において、概ねバランスよく力がついていると言えます。

■精華町の状況
4つの領域において高い値を示しており、全国と比較しても、各領域とも良好であると言えます。

B問題



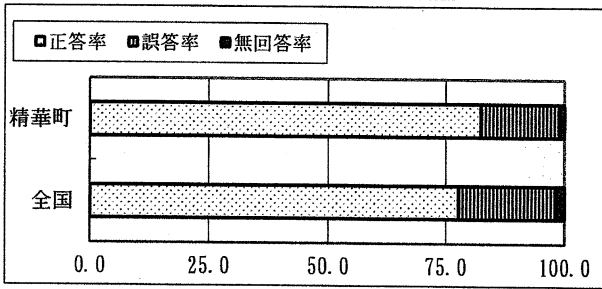
■国の状況
「話すこと・聞くこと」においては、他の領域と比較して、課題が見られます。

■精華町の状況
全国と同じ傾向を示しており、各項目とも全国を上回っています。

小学校算数科

正答率の比較

A問題



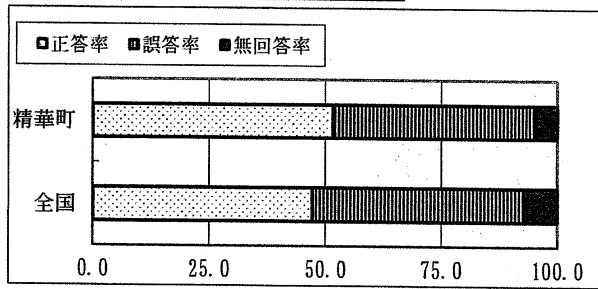
■国の状況

正答率は約77.6%であり、相当数の児童が今回出題された学習内容を概ね理解しています。

■精華町の状況

全国との関係において、良好な結果であり、無回答率も低い状況にあります。

B問題



■国の状況

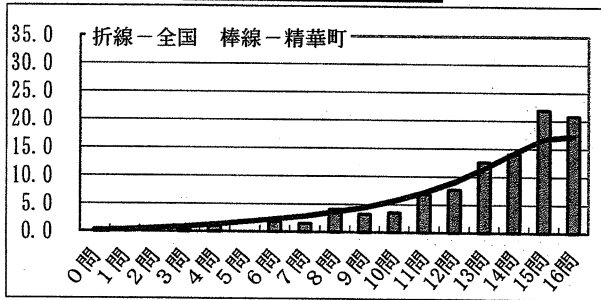
正答率は約47.2%であり、知識や技能を活用する力に課題があります。

■精華町の状況

全国とほぼ同じ傾向にあるが、全体的には上っており、無回答率も低い状況にあります。

正答数の分布比

A問題



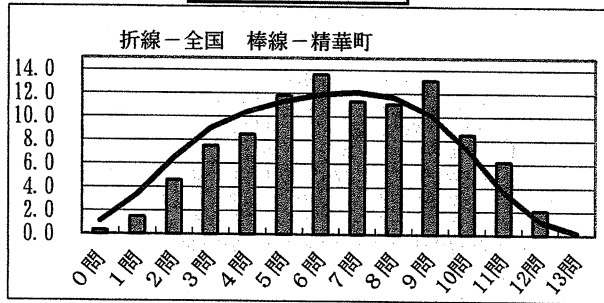
■国の状況

正答数は15問・16問をピークとする右寄りの山型に分布しています。

■精華町の状況

全国との関係において良好な結果であり、上位層の分布が高い傾向にあります。

B問題



■国の状況

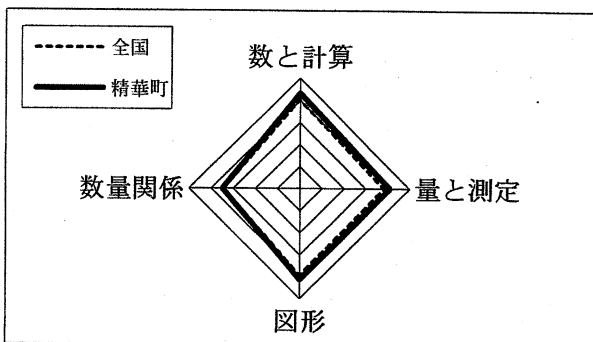
正答数は7問から8問をピークとする山型に分布しています。

■精華町の状況

2つの山があり、分布のバラつきが見られます。下位層に課題が残ります。

領域・観点の比較

A問題



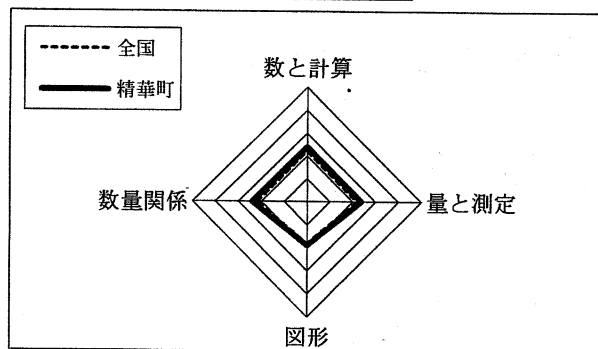
■国の状況

数量関係に少しの課題が見られますが、概ね、基礎基本がバランスよく習得できています。

■精華町の状況

全国と比較して、外側に分布しており、基礎基本が良好な状態で、バランスよく習得できていると言えます。

B問題



■国の状況

活用問題においては、全体に得点率が低く、特に図形に課題が残ります。

■精華町の状況

全国平均と同様の傾向が見られますが、各領域において、全国の数より外側に分布していません。

国語・数学ともに好調！！

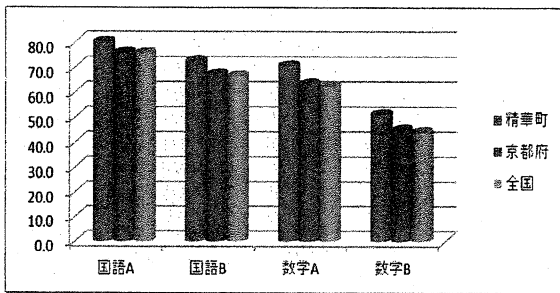
調査結果の概要

4月19日(火)実施の平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果を3回シリーズでお知らせしています。今回は、その第2回目として、中学校の結果について掲載いたします。

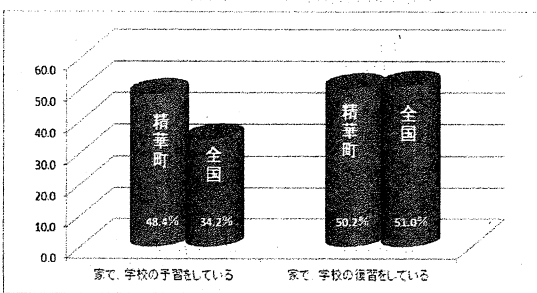
国語の問題では、「読む・書く・話す・聞く」の学習領域でバランスよく習得できていました。活用問題においても「記述式」で、本文から必要な情報を読み取り根拠を明確にして自分の考えを書く問題では、全国平均を上回る結果になりました。

一方、数学のA問題においては、「数と式」の学習領域で全国を上回る結果になりました。また、B問題の「資料の活用」領域の問題では、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明をする問題で課題が残りました。

正答率



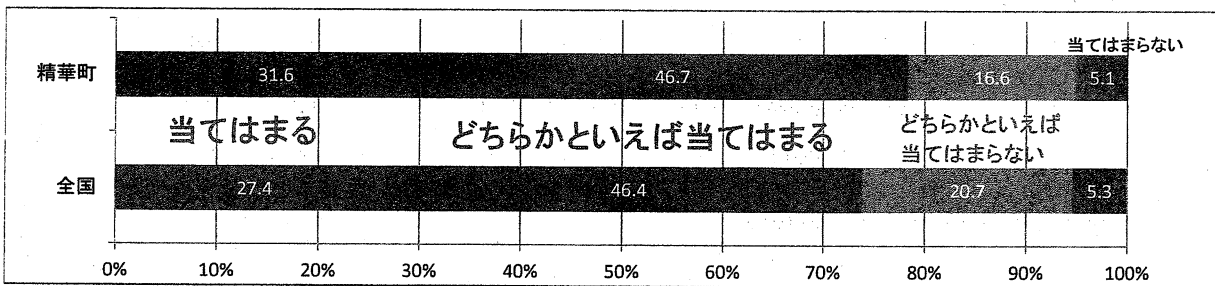
学習状況



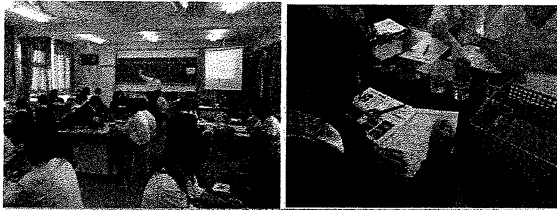
正答率の比較から、精華町の結果は、国語・数学とも京都府平均や全国平均を上回る結果になりました。また、学習状況のアンケート調査では精華町の生徒は、家で学校の予習をしている生徒が全国平均を上回っていることも分かりました。復習については全国平均並みですが、グラフより約半数の生徒が取り組んでいることが分かりました。

【特徴的な質問について】◆アクティブ・ラーニング(学習方法)について◆

授業で先生から示される課題や学級・グループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



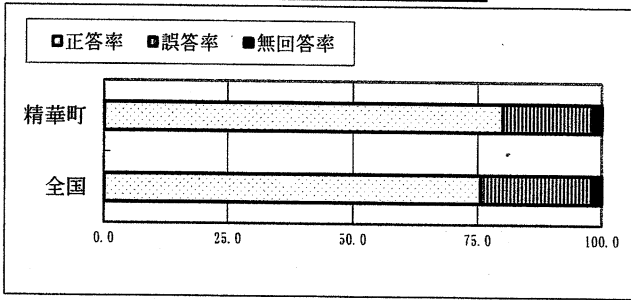
課題の探求など主動的に学ぶ学習方法として「アクティブ・ラーニング」の手法が昨今、注目されています。今回のアンケート調査によると精華町の場合は、全国と比較して、「当てはまる」と回答した生徒が4.2ポイントも高いことが分かりました。各校では引き続き「アクティブ・ラーニング」の視点を大切にしながら授業改善に取り組んでいく必要があると考えられます。なお、町ホームページでは、各分野の全国平均との比較を示したグラフを掲載しておりますので、ご覧ください。



◆企業の専門家による理科の出前授業の様子◆
単元『いろいろな物質とその性質』(対象:中学1年生)
プラスチックの性質を調べる実験の様子

正答率の比較

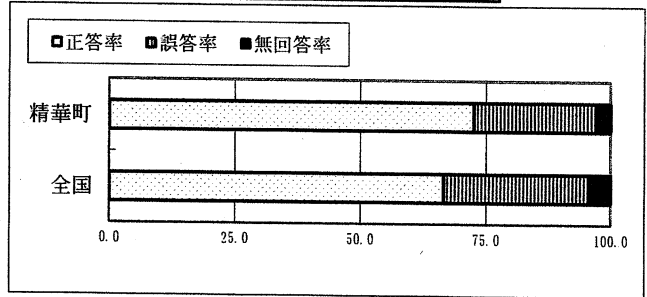
A問題



■国の状況
正答率は75.6%であり、多くの生徒が基礎的基本的な内容が習得できていると言えます。

■精華町の状況
正答率が全国を上回る高い値であり、良好な結果であると言えます。

B問題

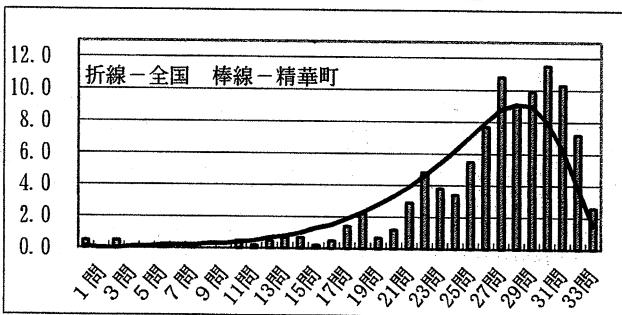


■国の状況
66.5%を超える正答率であり、概ね学習内容が理解できていると思われます。

■精華町の状況
正答率は全国を上回っているおり、学習成果が見られます。

正答数の分布比較

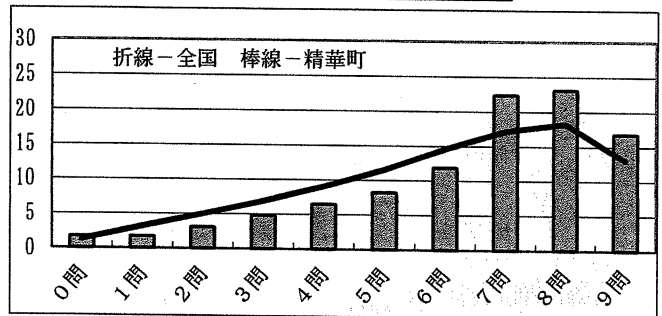
A問題



■国の状況
正答数は28問をピークに右寄りの正規分布を示しています。

■精華町の状況
全国との関係において、27問以上の正解者の割合が多い状況になっています。

B問題

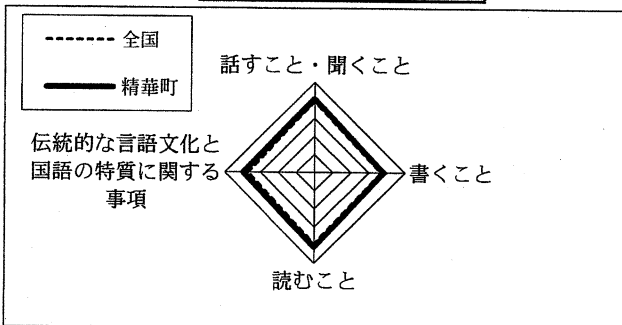


■国の状況
正答数8問をピークとして、山型の正規分布を示しています。

■精華町の状況
全国との比較では、7問~8問をピークにやや右寄りの正規分布を示しています。

領域・観点等の比較

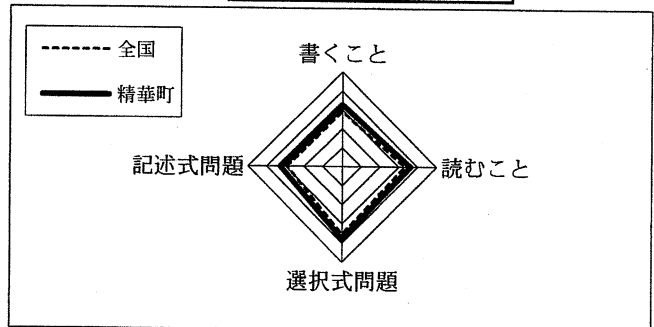
A問題



■国の状況
4つの領域において、概ねバランスよく力がついていると言えます。

■精華町の状況
全国との比較において、すべての領域で上回っています。

B問題



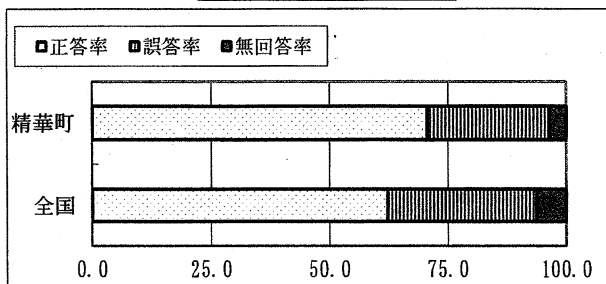
■国の状況
「記述問題」に少し課題が見られますが、概ね好調と言えます。

■精華町の状況
全ての項目で全国平均を上回り、バランスよく習得できていると言えます。

中学校数学科

正答率の比較

A問題



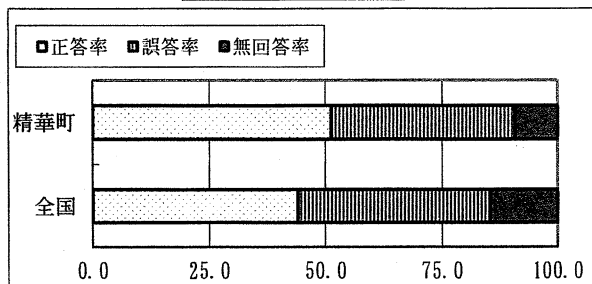
■国の状況

正答率は約62.2%であり、今回出題された学習内容は概ね理解できています。

■精華町の状況

全国との関係において、8%以上高く、良好な結果であると言えます。

B問題



■国の状況

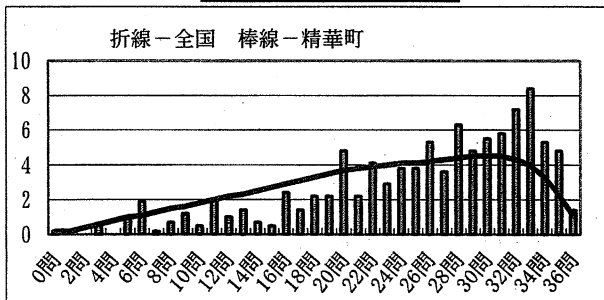
正答率は約44.1%であり、やや課題が残ります。無回答率についても14%を超える状況です。

■精華町の状況

正答率は全国より高い値を示していますが、無回答率の課題は残ります。

正答数の分布比

A問題



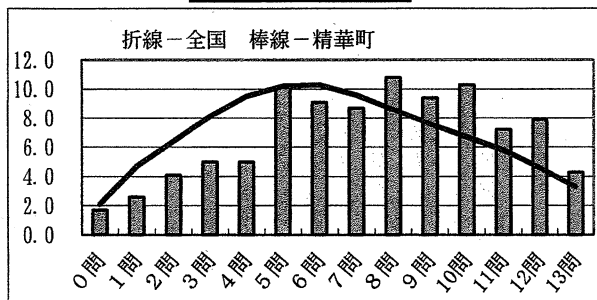
■国の状況

正答数は30問をピークとする右寄りの山型に分布しています。

■精華町の状況

全国との関係において、上位層の分布が多く、高い傾向にあります。

B問題



■国の状況

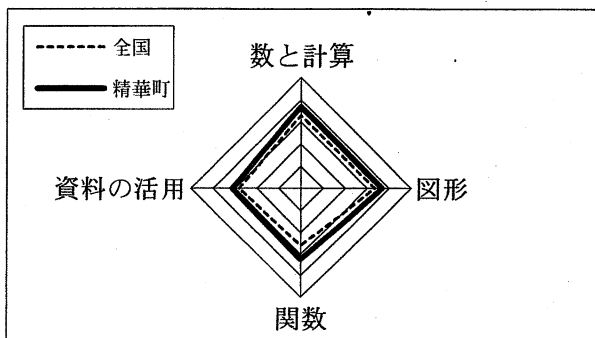
6問程度の正答者の割合が多く、全体に左寄りの分布が見られます。

■精華町の状況

全体にバラつきはあるが、右寄りに分布しています。

領域・観点の比較

A問題



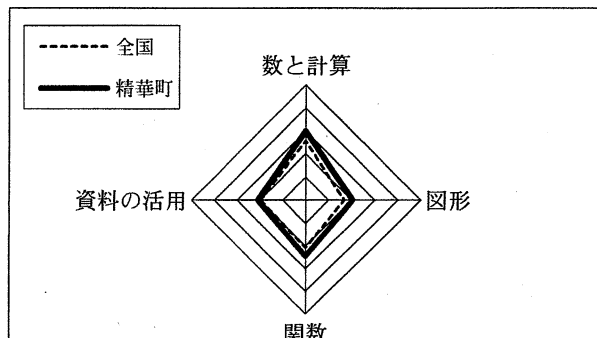
■国の状況

ほぼ均等に分布し、基礎基本がバランスよく習得できています。

■精華町の状況

全国と比較して、外側に分布しており、基礎基本が良好な状態で、バランスよく習得できていると言えます。

B問題



■国の状況

「数と計算」領域においては、比較的高い値を示しています。

■精華町の状況

全国と比較して、すべての領域で外側に分布しています。

小6生82.5%、中3生89.4% 学校に行くのが楽しい！！

さすにはグデなたいなのや全ゴ以てでりに学童▼
の掲ラ1つて1比小国リ下はす調つ習生質
で載ホフタた分分8較学平1の。査いや徒問
ししにを質析析のな生均に6質結をて生に紙
ごてムつ基問対を質どとと分つ問果し質活対調
覧おべいに項象し問特中の類の項にた問のし査
くりしてし目とまに徴学比し力目つもに様ては
だまジ たや しのつ的生較、テをいのよ子、児

ま結生終まで果習の▼
す。果徒回す。おを状一四
を質と。知三況全月
掲問し今ら回調国十九
載紙て回せシ「査学九
い調は、しり「力日
た査児、てし「の・実
しの童最いズ結学施

カテゴリー1 《学校生活について》

精華町の子どもたちは「学校に行くのが楽しいと思いますか」の質問に対し、小学6年生では82.5%、中学生では89.4%が肯定的に回答しています。また、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という質問では、小学6年生で87.1%、中学3年生で91.1%の児童生徒が達成感を味わっていることがグラフから読み取れます。

カテゴリー2 《学習状況について》

国語や算数・数学の授業において積極的に取り組んでいることがグラフの数値から読み取ることができます。(HPのグラフをご覧ください)特に算数・数学では、問題の答えを導くための手段を様々な方法で考える児童生徒が多く、教科に対する興味関心や学習意欲が高いと思われます。

カテゴリー3 《自分自身の事について》

「人が困っている時はすすんで助けますか」という質問では小学6年生では94.0%、中学3年生では91.9%が「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答しています。この値は、ともに全国平均を上回っています。

カテゴリー4 《規範意識について》

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問では小学6年生では95.9%、中学3年生では94.5%が「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答しています。この値は、ともに全国平均を上回っています。また、「いじめ」に関する質問においてもほとんどの児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と判断しています。

カテゴリー5 《体験的な活動について》

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の質問においては、小学6年生では94.9%、中学3年生では94.7%の児童生徒が肯定的な回答をしていることが分かります。

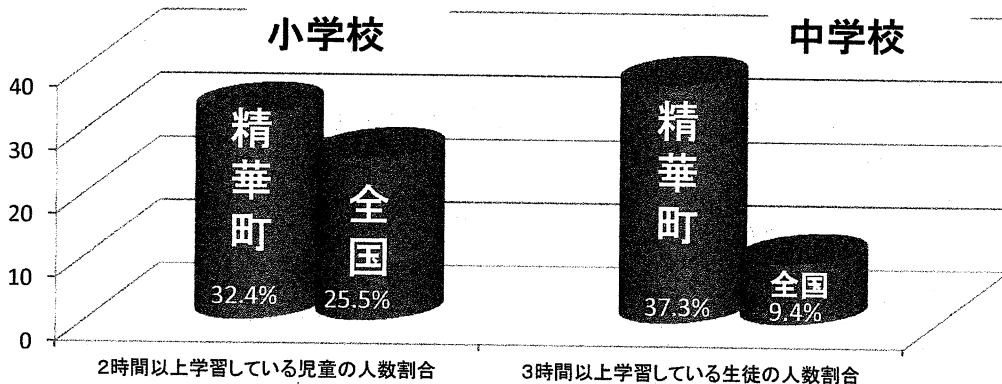
カテゴリー6 《家庭生活について》

朝の起床については、小学6年生及び中学3年生ともに規則正しく決まった時間に起きていることがわかります。また、「家の人と学校での出来事について話をしますか」の質問では、小学6年生では79.4%、中学3年生では78.1%の児童生徒が肯定的な回答をしていることがわかります。

精華町の小学生と中学生の大まかな状況(詳細はHPをご覧ください)

◆◆◆質問紙調査の結果より、特徴的な状況として◆◆◆

【質問】 普段、学校以外で1日どれくらいの時間、勉強していますか。(塾等含)

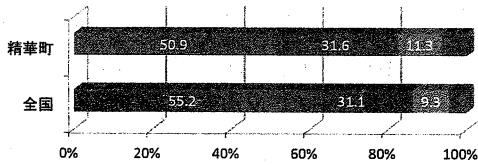


児童生徒の学習状況調査(質問紙調査)の中で「普段、1日あたりどれくらい勉強していますか(塾含む)」の質問で、中学3年生で3時間以上勉強していると回答した生徒が、全国と比較して大きく上回りました。小学6年生についても2時間以上勉強している児童の割合が全国を上回っております。引き続き、児童生徒が学習意欲を持って取り組めるよう、支援をしていきたいと考えております。

小学6年生

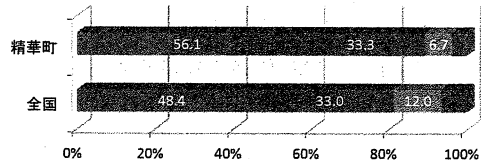
学校に行くのが楽しいと思いますか

- そう思う
- どちらかと言えば、そう思う
- どちらかと言えば、そう思わない
- そう思わない
- その他
- 無回答



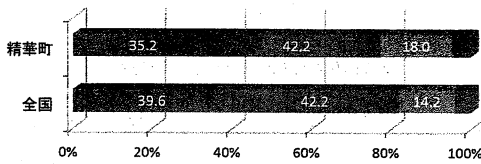
中学3年生

- そう思う
- どちらかと言えば、そう思う
- どちらかと言えば、そう思わない
- そう思わない
- その他
- 無回答

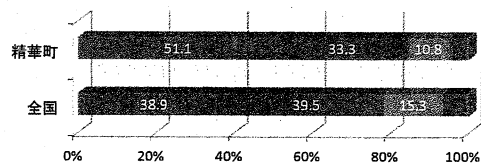


あなたの学級では、学級会などで話し合って学級の決まりなどを決めていますか

- そう思う
- どちらかと言えば、そう思う
- どちらかと言えば、そう思わない
- そう思わない
- その他
- 無回答

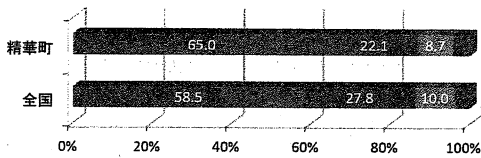


- そう思う
- どちらかと言えば、そう思う
- どちらかと言えば、そう思わない
- そう思わない
- その他
- 無回答

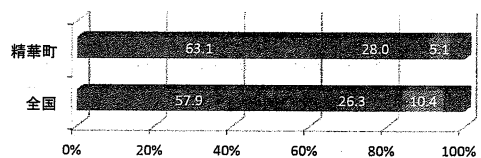


学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

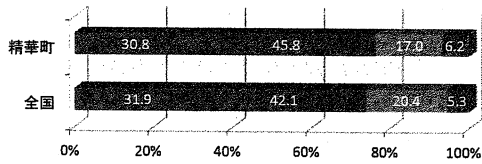


精華町の子どもたちは「学校に行くのが楽しいと思いますか」の質問に対し、小学6年生では82.5%、中学生では89.4%が肯定的に回答しています。また、学校生活では、多くの児童生徒は学級会などで様々な話し合いが行われ、より良い学校生活が送れるように決まりを自分たちで決めていると回答しています。次に「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という質問では、小学6年生で87.1%、中学3年生で91.1%の児童生徒が達成感を味わっていることがグラフから読み取れます。

小学6年生

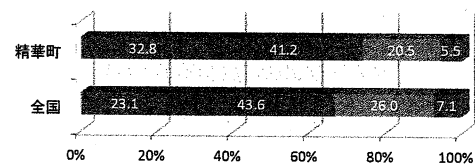
国語の授業で自分の意見を書く時、考えの理由が分かるように気をつけていますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



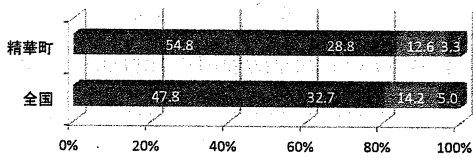
中学3年生

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

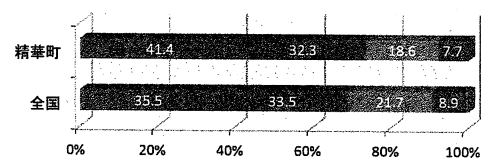


算数(数学)の授業で問題を解く時、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

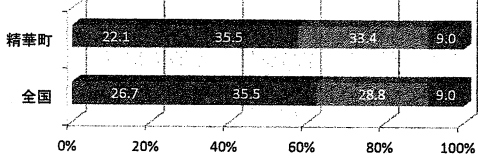


- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

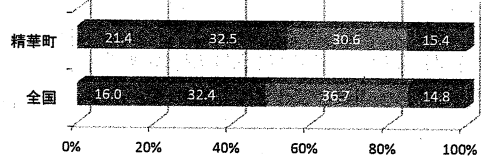


家で自分で計画を立てて、勉強をしていますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



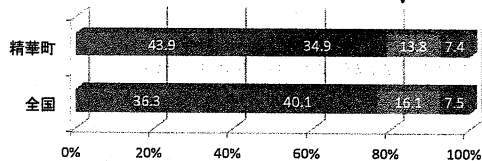
授業の状況に関する質問では、精華町の子どもたちが、国語や算数・数学の授業において積極的に取り組んでいることがグラフの数値から読み取ることができます。特に算数・数学では、問題の答えを導くための手段を様々な方法で考える児童生徒が多く、教科に対する興味関心や学習意欲が高いと思われます。一方、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、小学6年生では全国平均より低く、中学3年生は、高いという結果になりました。特に小学生においては、宿題だけではなく、積極的な家庭学習を進める必要があります。

小学6年生

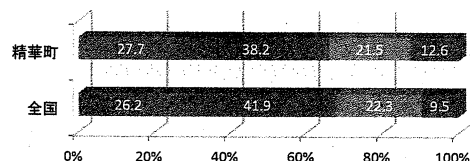
中学3年生

自分には良いところがあると思いますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

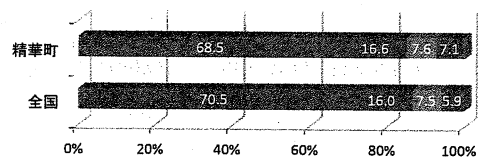


- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

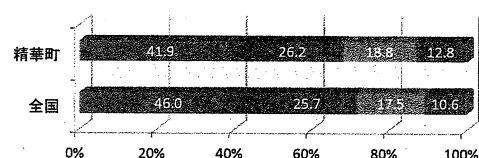


将来の夢や希望を持っていますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

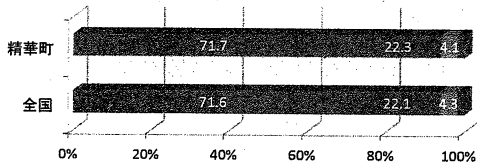


- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

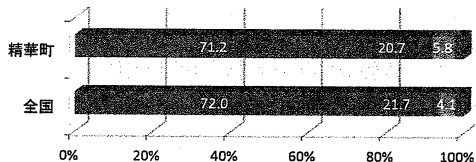


人が困っている時はすすんで助けますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



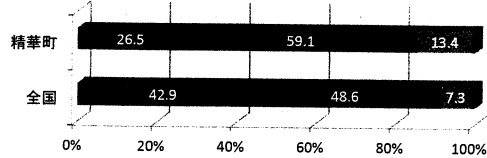
「自分には良いところがあると思いますか」の質問では「当てはまる」と回答した小学6年生及び中学3年生が、全国平均との比較で高いことが分かります。また、将来の夢や希望においては、小学6年生も中学3年生も全国平均を若干下回る結果になりました。自尊感情を高める取組や将来の展望を持たせる活動などを進めていくことが大切であると思われます。なお、「人が困っている時はすすんで助けますか」の質問では、概ね全国平均並みとなりました。

小学6年生

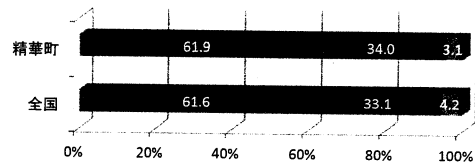
中学3年生

学校の規則を守っていますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

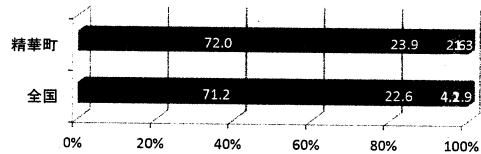


- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

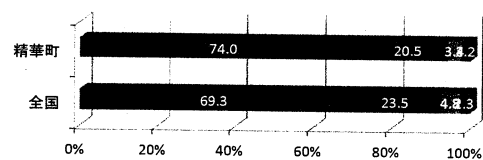


人の役に立つ人間になりたいと思いますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

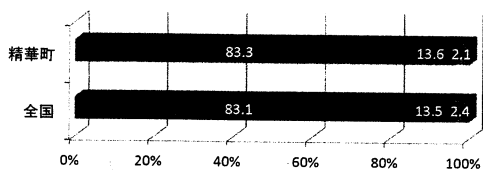


- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

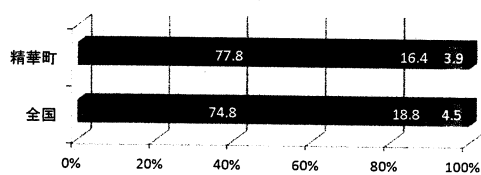


いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



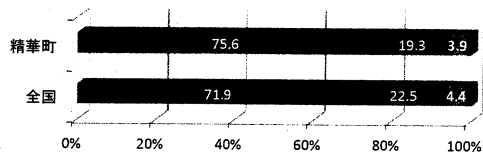
質問「学校の規則を守っている」において、小学6年生の回答が全国平均を大きく下回る結果となりました。各校では課題を分析し、適切な取組が必要であると思われます。次に、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問においては、90%以上の児童生徒が肯定的な回答をしています。また、「いじめ」に関する質問においてもほとんどの児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と判断しています。

小学6年生

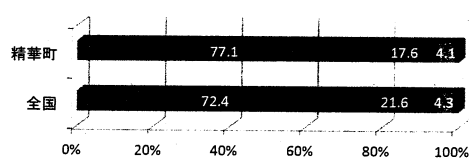
中学3年生

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

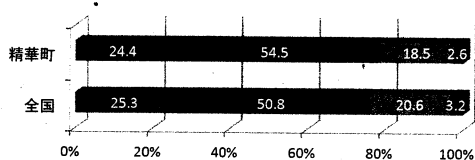


- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

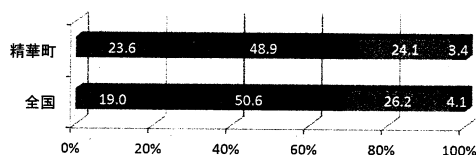


難しいことでも、失敗を恐れなくて、挑戦していますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

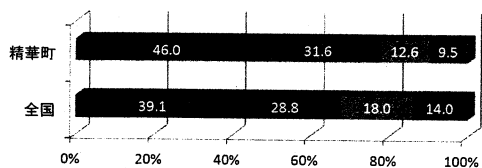


- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

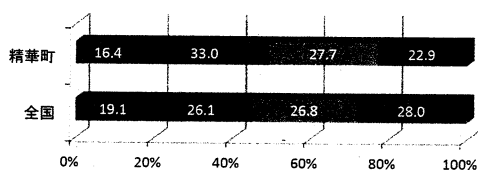


今住んでいる地域の行事に参加していますか

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答



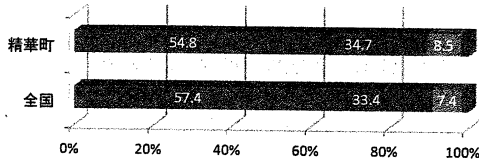
「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の質問においては、小学6年生では94.9%、中学3年生では94.7%の児童生徒が肯定的な回答をしていることが分かります。次に、「難しいことでも、失敗を恐れなくて、挑戦していますか」の質問においては、小中学生とも概ね全国平均並みの結果になりました。地域の行事への参加に関する質問では、小学6年生は積極的に参加していることが分かります。

小学6年生

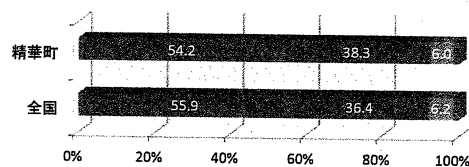
中学3年生

毎日、同じ時間くらいに起きていますか

- している
- どちらかと言えばしている
- あまりしていない
- 全くしていない
- その他
- 無回答

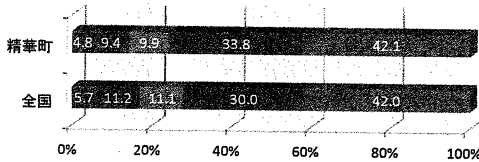


- している
- どちらかと言えばしている
- あまりしていない
- 全くしていない
- その他
- 無回答

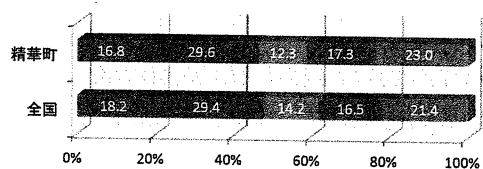


普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、コンピュータゲーム(携帯電話やスマートフォンによるゲームも含む)をしますか

- 3時間以上
- 1時間以上3時間より少ない
- 30分以上1時間より少ない
- 30分より少ない
- 携帯電話やスマートフォンを持っていない
- その他・無回答

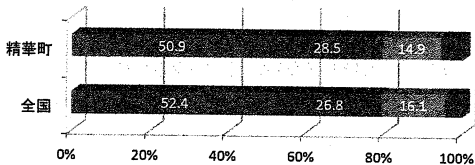


- 3時間以上
- 1時間以上3時間より少ない
- 30分以上1時間より少ない
- 30分より少ない
- 携帯電話やスマートフォンを持っていない
- その他・無回答

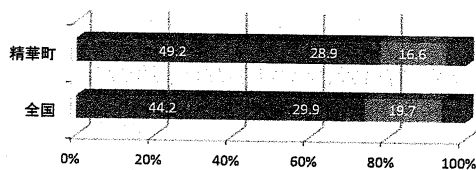


家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか

- している
- どちらかと言えばしている
- あまりしていない
- 全くしていない
- その他
- 無回答



- している
- どちらかと言えばしている
- あまりしていない
- 全くしていない
- その他
- 無回答



朝の起床については、小学6年生及び中学3年生ともに規則正しく決まった時間に起きていることがわかります。また、「1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか」の質問では、概ね小中学校とも全国平均並みですが、中学3年生においては、3時間以上ゲームをしている割合が全体の16.8%を示しています。使用のためのルールを決めるなど、家庭での約束事が大切であると考えられます。次に「家の人と学校での出来事について話をしますか」の質問では、小学6年生も中学3年生も約80%の児童生徒が肯定的な回答をしていることがわかります。

